



海軍少尉正八位南合源一郎
 特旨ヲ以テ位一級被進
 正八位南合源一郎
 叙從七位
 右謹テ奏ス
 明治二十八年八月十七日

内閣總理大臣候爵伊藤博文
 閣

(多田)

八月十七日裁可

明治廿八年八月十六日

内閣書記官

内閣總理大臣 **伊藤** 内閣書記官長

海軍少尉正八位南合源一郎ハ去ル廿五年十
 二月本官叙任以來能ク其職務ニ勵精
 シ且ツ日清戦争ノ際軍艦松島分隊士
 ニ奉職シ黄海威海衛等戦陣ニ從事シ
 功績殊ニ顯著ナル者ニ候處目下病業
 危篤ノ趣ニ付未ク叙任内則第五條ノ
 年數ニ達セズ候得共右戦功ヲ録セラシ
 此際持ニ位一級被進從七位ニ被叙
 然ルベシ

海軍少尉正八位南合源一郎

叙從七位
右謹テ奏ス

明治廿八年八月十六日
海軍大臣候爵西郷從道



海軍

南合海軍少尉ハ明治廿五年十二月廿七日
本官ニ任セラレ爾來軍務ニ從事スルコト
数年能ク其ノ職務ヲ盡シ且ツ日清戰
争ニ際シ軍艦松島分隊士ニ職ヲ奉シ
殊ニ容年九月十七日黄海ノ海戰并威海
衛砲擊等旗艦松島ニテ戰鬪ニ從吏シ最モ
功績顯著タルモノニシテ勳章下賜ノ御詮
議ニモ可相成者ニ有之候處目下病ニ罹リ
存命無覺束候ニ付特ニ位一階進メラレ度
別紙上奏書進達ス

明治廿八年八月十六日

海軍大臣候爵西郷從



内閣總理大臣候爵伊藤博文殿